

議会 ながのはらまち だより

2022
OCTOBER
10
No.133

9月定例会の内容をお伝えします



表紙：浅間牧場（説明16ページ）



QRコードから議会
だよりをダウンロード
できます



9月定例会で こんなことがきました

○ 9月定例会（会期9/8－21）

行政報告	…………	1件	条例改正	…………	3件
専決処分	…………	2件	補正予算	…………	4件
人事案件	…………	2件	決算認定	…………	9件

主なものを当誌より掲載します。 合 計 …… **21件**

■ 9月定例会で可決した議案一覧

議案番号	議案名	内 容	関連
報 告	1号 財政健全化判断比率及び資金不足比率の報告	令和3年度決算における当該比率について報告するもの	8
承 認	1号 1号 2号 専決処分の承認	令和4年度一般会計予算を補正するもの	3
諮 問	1号 1号 2号 人権擁護委員候補者の推薦	当委員の任期満了に伴う豊田幹雄氏（再任）、松本こづ江氏（新任）の推薦について意見を求めるもの	—
議 案	1号 職員の育児休業等に関する条例の一部改正	地方公務員の育児休業等に関する法律などの改正に伴い一部改正するもの	—
	2号 会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部改正	地方公務員等共済組合法の改正に伴い一部改正するもの	—
	3号 長野原町印鑑条例の一部改正	マイナンバーカードを利用した印鑑証明書のコンビニ交付サービスを実施するため一部改正するもの	—
	4号 1号 7号 一般会計・3特別会計補正予算	令和4年度一般会計予算やへき地診療所・公共下水道事業・介護保険特別会計を補正するもの	3
認 定	1号 1号 9号 令和3年度一般会計・8特別会計決算認定	令和3年度一般・各特別会計決算を認定するもの	6～8

感染症と物価高騰対策

令和4年度一般会計及び3特別会計補正予算を全員一致で可決しました。今回の一般会計補正予算では、7,310万円の追加補正を行うもので、主にオミクロン型新型コロナウイルスワクチン接種の費用や物価高騰対策を実施するものです。

一般会計補正額一覧（千円以下切捨）

■ 9月定例会（9/8）

- 一般会計補正予算（第3号）[専決処分]
7,168万円増額（計44億3,832万円）
- 一般会計補正予算（第4号）[専決処分]
3,065万円増額（計44億6,897万円）
- 一般会計補正予算（第5号）
7,310万円増額（計45億4,207万円）

■表 特別会計補正予算一覧（9月定例会）

特別会計	補正額	補正後総額
へき地診療所	108万円	9,667万円
介護保険	2,288万円	7億92万円
公共下水道事業	100万円	7,986万円

（千円以下切捨）

[主な補正内容]



5,122万円

愛郷ぐんまクーポン券支給事業

愛郷ぐんまプロジェクトの延長に伴い、さらにおトクになる「ながのはら♪ら♪ら 宿泊連携キャンペーン」を延長するもの。



1,673万円

新型コロナウイルスワクチン接種事業

オミクロン型新型コロナウイルスワクチン接種に向け、接種券の発送やコールセンターの設置をするもの。



60万円

健康増進事業

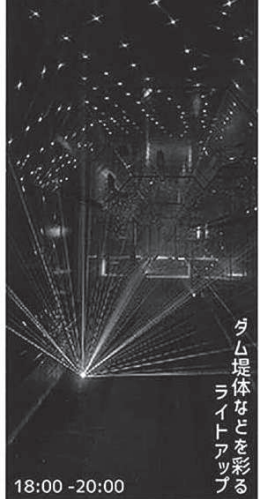
11月ごろ実施予定の健康マイレージ事業の景品代と郵送料。



300万円

こども園管理費及び給食センター費

中央こども園・応桑こども園・各小中学校の給食にかかる食材の高騰により給食食材の購入費とするもの。



19:30から

18:00 - 20:00

18:00 - 20:00

ハッ場ナイトフェスタ

西中学校



問

イベントの費用は

ハッ場ナイトフェスタ開催の費用はどうなっているのか。協力団体や出展者から補助や援助はあるのか。

答

概ね300万円
未来ビジョン推進課長

概ね300万円。協力団体や出展者からは補助などは貰っていない。すべて町の持ち出しで対応する。

令和6年4月に開校を予定している浅間小学校については現在、西中学校校舎の改修に向け実施設計業務を発注し、鋭意進めている。また改修工事の財源については、文部科学省の環境改善交付金、過疎対策事業債、教育施設等整備基金を充当予定と説明を受けました。



○各地域振興施設の運営状況について

各施設とも、新型コロナウイルス感染症の影響により厳しい経営状況となっているが、今後の運営状況については引き続き見守っていきたいと説明を受けました。

○ハッ場ナイトフェスタの開催について

新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、ハッ場ダム完成記念イベントでの実施を見合わせていた、プロジェクトクションマッピングを9月17日(土)に感染症対策を実施した上で披露し、新型コロナウイルス収束とコロナ禍からの復興を願うイベントにしたいと説明を受けました。

○長野原町上下水道事業経営戦略について

公営企業の経営戦略については、将来にわたり住民生活に重要なサービスの提供を安定的に継続することが可能となるよう、中長期的な経営戦略を策定し、現在の経営状況を的確に把握し、見える化を図ることにより経営改善等に務めていくと説明を受けました。

○学校統合の進捗について

来春に統合を予定している長野原中学校について、制服や体操着などでデザインが決定し製作に入り、校歌は詩人の谷川俊太郎先生に依頼し年内に完成予定。スクールバス運行は、西中学校区の保護者と調整を進めていると説明を受けました。

質疑応答

未納額などを明示し、納入者の賛同を

問

富澤議員 既に発生している使用料の未納について明確に示し納入者の賛同を得られるものにしてほしい。

公平に納められるように対策する

答

上下水道課長 未納者への対応は電話・手紙による督促・催告を実施している。利用者が公平に納められるよう対策していく。

統合後の児童数の推移は

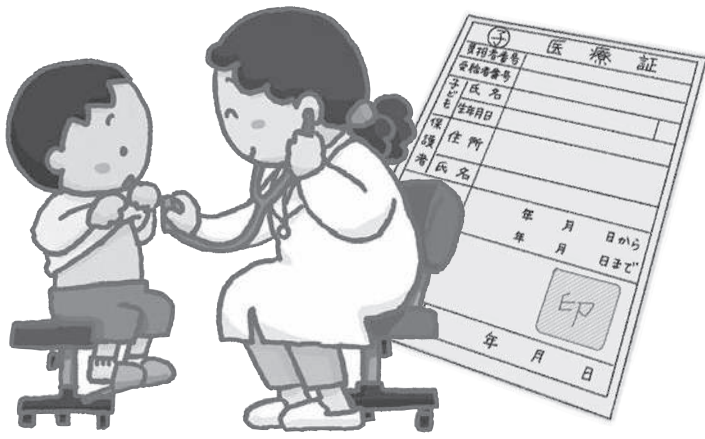
問

星河議員 過疎対策事業債の返済期間が12年とのことだが、浅間小の児童数はどのように推移するのか。

ほぼ横ばいで推移

答

教育課長 令和6年の統合当初の児童数は78名、令和7年は76名、令和8年77名で推移する。



福祉医療制度



9月全員協議会



入院通院合わせて18歳まで拡充をお願いしたい。
人口減少と少子高齢化という時代に子育て・養育について社会が一躍を担うことも必要と思う。
※6月議会一般質問より



見開きで、9月全員協議会の内容をお伝えします。私たちの生活に大きくかかわることが多く報告されました。

9月全員協議会の内容を紹介します

○こども福祉医療制度の年齢拡大について
6月議会一般質問にもありましたこどもの福祉医療制度の年齢拡大について、令和5年4月より郡内統一で高校卒業程度の18歳まで年齢を拡大し実施すると説明を受けました。

○新型コロナウイルス感染症への対応について
①60歳以上の方を対象とした4回目ワクチン接種が終盤となる中で、新たにオミクロン株対応型のワクチン接種について早期実施ができるよう準備を進めていると説明を受けました。

②マイナンバーカード普及促進事業について、8月末時点で59.29%で県内トップと説明を受けました。

マイナンバーカード普及促進キャンペーン

町では令和4年12月までにマイナンバーカードを取得した方に、つなぐ・つながる商品券を進呈するキャンペーンを実施しています。この機会にマイナンバーカードを取得してください。

- 第1弾：令和4年5月1日より
商品券1万円分
- 第2弾：令和5年8月1日より
更に商品券1万円分

○交付方法

◆令和4年7月31日までにマイナンバーカードを取得している町民の方
⇒8月中旬頃に簡易書留にて商品券を発送いたしました。

◆令和4年8月1日～12月末までにマイナンバーカードを取得された町民の方

⇒マイナンバーカード交付の際に商品券と一緒に交付します。

○対象者

- ①既にマイナンバーカードを取得している町民の方
- ②令和4年12月までにマイナンバーカードを取得された町民の方

※当該事業での商品券交付はお一人様1回限りとなります。



▲ 第2弾つなぐ・つながる商品券

イメージ

第1弾
10,000円

+

第2弾
10,000円

合計
2万円

令和3年度一般会計決算を認定

令和3年度一般会計決算が9月定例会にて審議され、全員一致で認定しました。

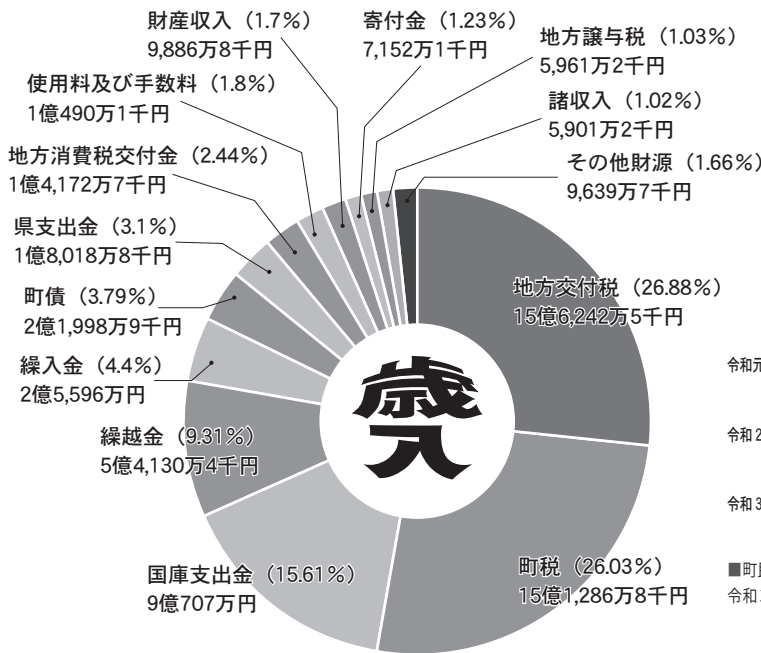
令和3年度一般会計の歳入決算額は58億1,184万6千円で(前年度比62・7%減)歳出決算額は53億5,509万7千円(前年度比で62・8%減)で歳入歳出差引残額は4億5,674万9千円(繰越明許費・事故繰越を含む)となりました。

主な要因は、新型コロナウイルス感染症に伴う徴収猶予の措置の影響と国土交通省より八ッ場ダムに係る国有資産等所在市町村交付金の交付で、前年度と比較すると、町税では4億6,255万5千の増収となりました。

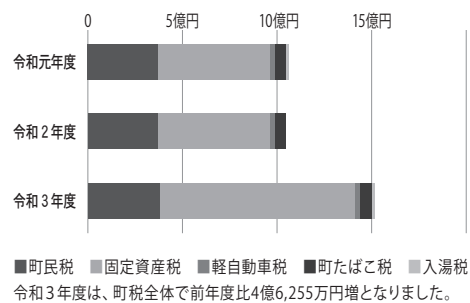


歳入 総額

前年度より34億4,374万6千円の減
58億1,184万6千円



町税収納済額の推移



質疑応答

町の水を商品化しては

問 梶野議員 町の水を商品化し観光施設で販売してはどうか。

検討する

答 未来ビジョン推進課長 現在はイベント時に配布や防災備蓄倉庫に入れたりしている。町の水の販売については検討していく。

人件費の減少理由は

問 大羽賀議員 経常収支比率が77・1%と昨年度と比べ大幅に減少しているが、その要因は人件費が減少と流動的なものである。収支の比率により町の良し悪しが判断されるので、健全な財政運営をしてほしい。

答 職員数の減少など 総務課長 県職2名派遣終了、年度

途中退職3名、育児休業3名による減額。経常収支比率は一般財源なので、国有資産等所在市町村交付金の影響も大きい。町として、財政支援のある事業の実施や起債を借り入れるにしても有利なものを選択し、また無駄をなくす努力をしていく。

問 浅沼議員 やんば 天明泥流ミュージアム赤字どうする

答 天明泥流ミュージアムの入館料が約600万円、管理運営の費用が約1,565万円となっているが赤字への対応はどうするのか。

教育旅行の誘致など

答 教育課長 新型コロナウイルスの影響もあり、入館者が伸び悩んだ。今後は教育旅行の誘致と費用の削減に努める。

令和3年度の主な事業



6,507万円

新型コロナウイルスワクチン接種事業



8,210万円

商品券支給事業



1,765万円

町営やんば天明泥流ミュージアム
管理運営事業



3億8,863万円

畜産振興対策事業

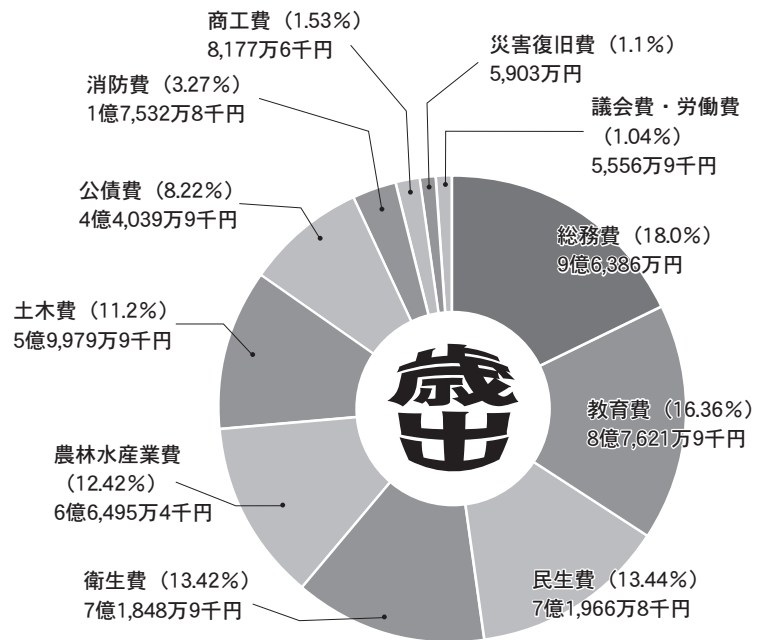
<p>単年度収支 (前年度実質収支-実質収支)</p> <p>1,419万5千円</p> <p>※単年度の純粋な収支を表す。</p>
--

<p>実質収支 (翌年度繰越額-歳入歳出差引額)</p> <p>3億7,950万7千円</p> <p>※単年度歳入歳出の実質的差額。地方公共団体の余剰金または純損失を表す。</p>
--

<p>経常収支比率</p> <p>77.1% (前年度91.4%)</p> <p>※地方公共団体の弾力性を表す指標。経常的経費に経常一般財源収入がどの程度充当されているかをみるもの。</p>

<p>実質単年度収支 (単年度収支+実質黒字要素-実質赤字要素)</p> <p>2,043万1千円</p> <p>※単年度収支に黒字要素（積立金・繰上償還）や赤字要素（積立金取り崩し）を加減したもので、実質的な収支を把握するもの。</p>

歳出総額 前年度より31億5,919万1千円の減
53億5,509万7千円



※総額または構成比は、総計と項目累計で合わないことがあります。
※全て千円未満切り捨てで掲載しています。

問 有害鳥獣駆除捕獲補助金の適正支給を
浅沼議員 猟友会が有害鳥獣を駆除することにより、農作物などへの被害が少なくなっているのは事実だが、一方で檻を設置し、餌も一回入れただけでその後の管理をせずに有害鳥獣駆除捕獲補助金をもらっているような話を聞く。補助金は税金であり、性善説では収まらない。町で実態を確認し対応してもらいたい。

答 農林課長 実態を把握して適正管理をしていく。猟友会組織の方から意見をいただきながら、良い活動ができるようにしていく。
問 温泉利用券をもっと買いたい
答 牧山議員 高齢者・障がい者温泉入浴事業の利用券をもっと買いたいとの声がある。また、北軽井沢・応桑地域で利用できる施設を拡大して行ってほしい。

答 町民生活課長 施設との共存のため購入制限を設けている。一人200枚までと制限を設けている。昨年よりホテル1130が参入してくれ利用できる施設は3施設となっている。近隣町村と協力して利用できる施設の拡大もしていきたい。

8 特別会計決算を認定



令和3年度8特別会計を全員一致で認定しました。(9月15日・本会議)

これら会計は福祉や地域医療、上下水道など住民生活に直結した事業を実施するための会計となっており、住民の負担軽減や健全財政維持を目的に8会計全てが一般会計より繰入を受けています。

なお各会計決算の概要は下表のとおりです。

■令和3年度特別会計決算の概要

特別会計名	歳入決算額	歳出決算額	差引	一般会計繰入金
国民健康保険	8億1,092万9千円	7億2,061万5千円	9,031万3千円	5,011万5千円
へき地診療所	1億1,082万4千円	9,209万4千円	1,872万9千円	1,700万円
簡易水道事業	1億5,753万3千円	1億3,525万1千円	2,228万2千円	9,064万5千円
農業集落排水事業	1億287万円	9,238万8千円	1,048万1千円	7,693万7千円
公共下水道事業	9,089万6千円	6,979万円	2,110万5千円	3,849万4千円
介護保険	6億8,016万7千円	6億430万4千円	7,586万2千円	9,063万4千円
後期高齢者医療	9,478万9千円	9,022万6千円	456万2千円	2,056万2千円
浄化槽整備事業	570万1千円	505万8千円	64万2千円	255万8千円
合計	20億5,371万1千円	18億973万1千円	2億4,398万円	3億8,694万5千円

※千円未満切捨

町の基金(貯金)はいくら？

基金は町が特定の目的をもって条例で設置する資金や財産のことです。令和3年度末現在における主な町の基金状況は下表のとおりとなっています。

■主な基金状況(令和3年度末現在)

基金名	増減	残高
財政調整基金	2億3,462万6千円増	28億5,875万5千円
教育施設等整備基金	3億17万8千円増	3億2,619万4千円
ハッ場ダム周辺整備事業施設管理基金	0円	22億5,269万8千円
ふるさと応援基金	1,229万4千円増	1億3,080万7千円

※千円未満切捨

町財政は健全？

令和3年度における財政健全化判断比率については下表のとおりです。特別会計における資金不足比率については、資金に不足がないため掲載していません。

■財政健全化判断比率

実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率	将来負担比率
—% (15.0)	—% (20.0)	10.3% (25.0)	—% (35.0)

※数値が無い場合「—」を記載 ※ ()内は早期健全化基準

実質赤字比率 一般会計などの赤字の程度を標準財政規模に対する割合で表したものの。

連結実質赤字比率 すべての会計に生じている赤字の程度を標準財政規模に対する割合で表したものの。

実質公債費比率 借入金の返済額の程度を標準財政規模に対する割合で表したものの。

将来負担比率 地方公共団体の借入金(地方債)など現在抱えている負債の程度を標準財政規模に対する割合で表したものの。

一般質問 町の考えを問う

あさい なおき
浅井直輝 議員 (10分)

・安心カードについて

ほしかわあきひこ
星河明彦 議員 (11分)

・公共交通の見直し
活性化について

あさぬまかつゆき
浅沼克行 議員 (12分)

・地球温暖化そしてゼロカーボン
シティに対する町の取り組みは

まきやま あきら
牧山 明 議員 (13分)

・西吾妻福祉病院の今後の方針と
改善目標は

YouTubeで一般質問の様子を
ご覧いただけます



一般質問とは。議員が町長などの執行機関に対し、事務の執行状況や将来の方針などについて所信や疑問をただすこと。報告や説明を求めることです。

9月定例会では4人の議員が登壇し、公共交通や炭素社会などについて質問を行いました。

ここでは、質問と答えを要約した内容(10から13分)をお知らせします。



安心カードについて



あさい なおき
浅井 直輝 議員

再度周知をすると同時に マイナンバーカードで さらなる可能性を

問

平成24年10月より救急医療情報キットとしてスタートした。事業開始から10年が経つが、申請件数が非常に少ない状況について町長の考えを伺いたい。

答

町長 安心カードは急病や怪我で救急車を呼んだ際に救急隊や搬送先医療機関に対して持病や緊急連絡先などを伝える情報ツールである。

当町では、救急医療情報キットとして、希望される方に無料で配布する事業を行っているが、ご指摘の通り、申請件数は極めて少ないのが現状である。

近年では、マイナンバーカードを利用した安

問

事業開始して10年になるが、申請件数はわずが96件。ほとんどの人が、このキットのことを知らず周知されていない。役場窓口や民生委員が扱っているが、他の自治体では地区の公民館や薬局、郵便局で扱っているところもある。また、町のイベント時やコロナワクチン接種時に宣伝し広めてほしい。

答

町長 施政方針令和4年度) 8つの

目標の中に情報格差の解消を謳っているが、情報をどのように伝えていくか改めて検討していく必要がある。マイナンバーカード、商品券や補助金のことも情報が伝わっていないと実感している。

安心カードに記載する情報はマイナンバーカードにほとんどの情報が取り込まれている。マイナンバーカードは、直近の健康診断のデータやいつどの病院を受診して、どんな薬が処方されているかがわかり、内容も自動で更新される。

しかし、誰もがデジタルを使いこなせるわけではないので、デジタル社会へ移行の過渡期だと思う。つなぎの期間として救急医療情報キットがあることも周知していきたい。

問

デジタル化も良いが、アナログも併用してもらえればと思う。対象者が全町民であれば、65歳以上の方に配布してはどうか。

答

町長 施政方針の8つの目標の中で、デジタル化の推進と同時にコミュニティの再構築についても掲げている。人と人の繋がりがや絆は希薄化の一途をたどっていると言わざるを得ない。地域コミュニティの在り方を見つめ直すことも大切である。



冷蔵庫のドアポケットに保管してください。



ほしかわ あきひこ
星河 明彦 議員



公共交通の見直し 活性化について

地域公共交通の 活性化を推進していく

問

JR東日本が7月28日に赤字路線を公開し、吾妻線では長野原草津口〜大前間が輸送密度320人で2019年度の赤字額が4億6千万円に上り、バス路線への転換なども含め沿線自治体と協議を進めるとの発表があった。

当町では群馬大津・羽根尾駅を利用する方に影響がでる。交通弱者の移動手段を減らす、路線の廃止とならないよう乗車率の向上や利用促進に取り組む必要があるが、町長の考えを伺いたい。

また、2021年3月の一般質問で、地域公共交通のビジョンについて伺ったが、検討委員会を立ち上げ関係機関などと協議するとの回答であった。協議の結果も合わせて伺いたい。



答

町長 電車利用促進として来月JRなどと協力し、駅からハイキングを実施するほか、先日開催のハツ場ナイトフェスタも利用促進の一環として実施した。

また、吾妻線の活性化については、渋川市と吾妻郡内町村で構成された協議会において、利用促進施策の検討や情報共有を行っている。引き続き、吾妻線沿線市町村とも連携協力し進めていく。

地域公共交通ビジョン

問

JRが赤字を公表したということは、廃線に向けての道筋が示されたと感じている。廃線にしる存続にしる地域の方の交通手段をどのように確保していくかというところが大事になる。

また、町としてビジョンを示していく中でJR線をどうするのかという問題がでてくる。公共交通の使命は移動や観光で地域に貢献し、まちづくりと連携することが望ましいと考えている。

答

町長 10年後、20年後を見据えた町の地域交通を考え計画策定を行い、環境の変化への対応のため毎年ブラッシュアップも行う必要があると考えている。

現段階では本当に困っている方（交通弱者）をどうやって救っていくことができるか、そこに焦点を当て色々な声をいただき形にしていきたい。

JRについては町だけでなく沿線すべての自治体や民間企業と連携し取り組んでいくべき問題と

群馬大津・羽根尾駅を活性化するのは難しいと思う。沿線である嬭恋村や草津町と協力して進めてもらいたい。

また、この計画は1度作って終わりではないので、継続して進めていくための体制づくり、交通の空白地帯のないまちづくりをしていただきたい。



あさぬま かつゆき 浅沼 克行 議員



地球温暖化そしてゼロカーボンシティに対する町の取り組みは

持続可能な社会の構築を目指す

問

国連において採択されたパリ協定により、政府環境省は、2050年までに二酸化炭素排出量を実質ゼロにすることを目標に定めた。この目標のもとに、東京都、大阪府などの大都市が賛同し、その後ゼロカーボンシティを表明する全国の自治体が増えてきている。

答

町長 地球温暖化による気候変動が問題視されている。本町でも、令和元年10月の台風19号で、過去最大級といえる甚大な被害があり、温暖化の脅威は私たちにとって身近な問題となっている。

町の脱炭素社会の実現に向けた取り組みの一つとして、地域の特色を生かしたバイオマス産業を軸とした環境に優しく災害に強いまちを目標に、バイオマス産業都市構想を策定し、バイオマス産業都市の認定を目指し、国に応募した。この構想は、町の脱炭素社会の推進やSDGsさらには、福祉に繋がるものと考えている。このほかに太陽光発電システムや蓄電池シ

ステムを住宅に設置する方へ補助金や生ごみ処理機購入費の補助金など環境に優しい町づくりを推進するため実施していく。また、今年度中にプラスチックごみなどのリサイクルボックスを各地区に設置し、分別回収の実施を予定している。

問

当町もゼロカーボンシティを表明し、積極的に取り組んでほしい。また、町民に町の取り組みを知らせ賛同をいただき、町全体で未永くゼロカーボンの問題解決に向け進めてもらいたい。

答

町長 町は地域の環境や資源を生かして脱炭素社会に立ち向かって行くため、今年度バイオマス産業都市構想を策定した。

このことはゼロカーボンシティを表明する以上の取り組みをしていると自信をもってもらいたい。すべての町民に環境問題に対しても自分事として捉え、考え、行動する精神を醸成していくことが一番大切だと思う。

バイオマス産業都市構想の認定を受けた時に、ゼロカーボンシティも表明したい。効果的な発信になると思う。



CARBON NEUTRAL



まきやま あきら
牧山 明 議員

西吾妻福祉病院の今後の方針と改善目標は

医師確保に繋がるよう
努力していく

問

西吾妻地域の中核病院である西吾妻福祉病院は、コロナ感染症が広がる中、いち早くPCR検査体制を整え、住民の健康と命を守ってきた。第7波の蔓延を前に、コロナ病床を10床を整備し、大変役立っていると聞いているが、一方で、開院以来続けてきた産科が数年前になくなり、高齢者の多い地域では必須の整形外科の常勤医がいなくなり、予約しても20日から1ヶ月先になつてしまう状態が続いている。病院管理者である町長の今後の病院の管理方針と改善目標について考えを伺いたい。

答

町長 西吾妻福祉病院は新型コロナウイルスの拡大によって医療が逼迫する中で、早期のPCR検査体制確立や7月からはコロナ病床も確保し、地域の中核病院として努力してきた。しかし、議員ご指摘の専門医不足については、全国的に地方の医療圏で顕著となっており、医師確保に奔走しているが、非常に難しい状況である。今後も医師確保に繋がるよう研修や医学実習生の受け入れなどにも対応していく。



問

医師の確保が難しいということには、ずっと前から聞いているし、吾妻地域で産科を復活させるという目標もいまだ進展が見られない。

そのような中、昨年度の西吾妻福祉病院の決算は新型コロナウイルスの補助金による収益があり経常利益にして3,263万3千円の黒字決算となった。さらに今年度コロナ病床を10床整備したことにより補助金の収入が増えると予想される。この機会に開院時の姿である整形外科の常勤医や産科再開に向け取り組むべきだと思う。

改善できるところは改善し魅力ある病院に戻していけば病院経営、またこの地域の医療充実に繋がると考えている。町長の努力と手腕に期待している。

町長 私が町長就任後に西吾妻福祉

病院の在り方を構成町村で議論し、この地域に欠かすことができない救急は赤字になってもお金を出し合い維持することをオーソライズした。

現在、町のお金を約2億4,000万円投入している。これに対しての国からの交付金が1億5,600万円程度あり、町の一般財源から8,400万円ほど持ち出ししている。

これ以上、税金を使う覚悟があるならば、専門の医師を呼ぶことはできると思う。

しかし、全国的に専門医が減っていく中において、例えば総合医で地域医療に真剣に向き合い、町を愛してくれるような医師を発掘していくとともに、研修医や医学実習生を受け入れ地域に根を張ってくれる医師を育てていきたい。

総務文教常任委員会合同所管事務調査

福祉病院など管内施設を調査



▲一般廃棄物最終処分場にて令和5年4月頃から他組合の焼却灰の受け入れが始まることなど説明を受けました。受け入れにあたり、高度処理施設の建設や上水道の引き込み工事を予定しています。



▲障害福祉サービス事業所「やまどり」にてお饅頭の箱作りをしている様子です。

7月20日（水）、総務文教常任委員会と町当局と合同で管内福祉・環境衛生施設の調査を実施しました。今回にしあがつま地域活動支援センター「すきつぷ」、西吾妻環境衛生センター最終処分場や西吾妻福祉病院をはじめとした事業所で施設概要説明や要望などを受け、各現場の課題や実態を把握するとともに見識を広めました。



▲へき地診療所にて発熱外来のプレハブの利用状況などの説明を受けました。旧応桑幼稚園、旧へき地診療所の老朽化が著しく課題となっています。

吾妻郡の新しいゴミ処理場が計画されている中で当面焼却灰は西吾妻環境衛生施設組合の最終処分場が受け入れることになる。この施設には上水道がなく近く整備することを聞いた。またパソコンもこの春からようやく入ったというから驚きました。

障害者福祉のすきつぷとやまどりも調査に伺った。コロナ禍にもかかわらず多くの利用者が集まって作業等をしていて関係者の努力に敬意を表したい。やまどりでは利用者の1ヶ月の工賃が1万7千円を超え2万円を目標としているという。野菜の箱作りやホテルのロビーの清掃なども手がけていた。

医療関係で西吾妻福祉病



調査レポート
まきやま あきら
牧山 明 議員

院と応桑へき地診療所を調査した。福祉病院ではコロナ病床10床を整備し、診療所ではプレハブの発熱外来診療施設を備えコロナに対する対策が進んでいた。

からまつ荘ではコロナ禍、関係職員は一時も気が休まる間がない。団塊の世代の高齢化が更に進むと必要性は一層高まると思う。

最後に訪れた社会福祉協議会の取り組みは多岐にわたる。地域包括ケアシステム構築の力ぎを握る組織として更なる活躍が期待されている。福祉有償運送事業が開始されたのは一歩前進と感じた。

3年ぶりの今回の所管事務調査は新たな発見や気づきがあり有意義だった。

高度処理とは

⇒通常の処理法で得られる水質以上の水質を得る目的で行う処理法のこと、一般にリンや窒素を除去する処理法のこと

議会改革 すすめています

議会ICT化 に向けて

ペーパーレス化（会議資料などの紙媒体をデジタル化して削減することによって、事業の経済的・時間的な効率化を図ること）が提案されてきました。この度、ペーパーレス化の実際を体験するために、8月30日（火）に議員向けの講習会を開催しました。

全国520自治体で導入実績があるペーパーレス議会システムアプリ「SideBooks」を運営している東京オンラインプレイ（株）によるオンライン講師と（株）NTTドコモCSのご協力によりタ



ブレット端末（iPad）をデモ機として用意していただきました。

一人1台ずつタブレット端末を用いながら、文書の閲覧方法からメモの取り方、クラウド上への保存方法など初歩から実践的な使用方法までの内容でした。

議員全員で同時にアプリを動作させながらの講習なので、実際に町議会へ導入した際の利点や課題も即座に共有され、各人のイメージもある程度はつきりしてきましたと思います。また、講師の方からはこれまでの導入実績のみならず上手くいったいない事例までご紹介いただき、1年くらいかけて徐々に移行していくこととしました。

この講習会から、来年度導入をめざし準備を進めていくことを議員全員で決めました。各議員の対応力への適切なフォロー・決して低くはない初期投資・運用する上での新たな決め事必要性や導入するタブレット端末の性能面といった解



決すべき事柄も見えてきました。

また、現在紙で執行部から提出される議案書をデータ（PDF）形式に変更してもらうなど執行部の理解も必要不可欠と感じています。

さらには、導入後もしばらくは従来の紙媒体との併用となるため、一時的に事務量が増大することへの職員の理解と協力も欠かせません。

今後は、来年度の試験的な導入に向けて、また将来は役場内業務全般のペーパーレス化の実現性も検討しつつ、課題を洗い出し、解決を図っていきます。

あなたも 議会を傍聴しませんか

議会定例・臨時会の様子はどなたでも傍聴することができます。

傍聴される方は、議会開催日に直接議場までお越しください。受付簿に氏名など必須事項を記入の上、傍聴してください。予約は不要で会議中の入退室も自由です。

※傍聴の際は、新型コロナウイルス感染症予防のため、マスクの着用、手指の消毒、検温のご協力をお願いします。

次回定例会

12月

6日（火）

15日（木）

※発行日現在の予定

議会の主な活動

議員や議会は何してるの？という声を聞きます。
ここでは、議員や議会の主な活動状況をお知らせします。

8月

- 24 西吾妻福祉病院組合例月出納検査及び決算審査
- 25 第1回長野原町民生委員推薦会
吾妻広域町村圏振興整備組合議会 第2回定例会
吾妻環境施設組合議会 第2回定例会
吾妻郡町村議会議長会定例総会
- 30 議会運営委員会
- 31 東中学校 体育祭

9月

- 1 西中学校 体育祭
- 5 町老連 輪投げ大会
- 8 長野原町議会全員協議会
令和4年9月第3回長野原町議会定例会
- 10 応桑小学校 運動会
- 13 第5回北軽井沢連絡会議
- 14 北軽井沢小学校 大運動会
- 15 第49回吾妻地区福祉パレード
令和4年9月第3回長野原町議会定例会(2日目)
令和4年9月第3回長野原町議会定例会(最終日)
- 21 第7回JGN 関東ブロック大会 in 浅間山北麓
- 23 3組合議会(環境衛生施設組合・衛生施設組合・西吾妻福祉病院組合)
西吾妻福祉病院管理運営協議会
- 28 応桑こども園運動会
- 29 第1回地域公共交通活性化協議会
- 30 中央こども園運動会

10月

- 5 戦没者追悼式
- 14 広報編集委員会
- 21 西中学校 校内文化祭
- 27 東中学校 校内文化祭
群馬県町村議会議長会理事会

11月

- 7 プロポーザル審査委員会
- 8 浅間牧場活性化委員会
- 9 町村議会議長会 全国大会
東三河広域連合 視察受入
- 10~11 議会行政視察
- 29 議会運営委員会



7月21日に片品村議会総務観光常任委員会の視察を受け入れました。テーマが“ハッ場ダムの活用と地域振興について”でありましたので、つなぐカンパニーながのはらの佐藤会長をお招きしご対応いただきました。



応桑小学校6年生児童たちが議場を見学し、議会事務局長と意見交換をしました。

議長席に誰が座って写真をとるかジャンケンで決めている姿を微笑ましく思いました。

表紙の写真

そろそろ紅葉の時期になりますね。天丸山・県境への遊歩道を通して浅間牧場の大自然を満喫してはいかがでしょうか。

編集後記

コロナ感染の第7波が続く中、令和3年度の決算認定が終わりました。ロシアのウクライナ侵略も7ヶ月を越え更に長期化の懸念とロシアの無差別攻撃、歴史を70〜80年遡りしたかのような残酷な殺戮の証拠が明らかになってきました。地球環境の維持や人類の存続可能な発展をめざしたSDGSとは相容れない戦争を一日も早く終わらせ、ウクライナに平和を取り戻すため私たちも協力しなければなりません。コロナとロシアの侵略により大きく崩された経済の民主的立て直しと町民の皆様の暮らしを少しでも良く出来るような議会活動を目指します。

A・M

◎広報委員

委員長 大羽賀進
委員 牧山 明
萩原 宗仁
梶野 寛丈